



川岸小学校の児童見学会風景 令和3年
2月27日 筆者撮影 (上下2枚とも)

信濃国末勘姓氏あり、先祖を鮎沢備前守とす。甲州武田家に旧くより仕えし武人なり。などの説があり他から先祖が来た。

境内には30基ほどの石神・石仏がある。

2基の尹大権現と2基の行義大権現は宗良親王の御子尹良親王のことと言われているがはっきりしていない。6本腕の憤怒形馬頭観音がある。

社の裏手に5本のウラジロモミがあり、岡谷の社寺叢の17本中その大ききで3位までがこの境内にある。この中にある岡谷最大のもは胸高幹囲4.57^m、高さ37^mである。

〔使用文献〕

岡谷歴史の道とその資料編 岡谷市教育委員会・駒沢区誌・岡谷区誌

諏訪の今昔 郷土出版社・諏訪の交通史

諏訪教育会・石造物から見た民間信仰川岸編 横内達男・諏訪史料叢書 諏訪教育会

・天竜川紀行 柘植敏男

天保13年(1842)寅年(12月) 鮎澤村

阿弥陀堂古文書・諏訪藩主手元絵図 享保

18年(1733) 諏訪史談会

◆ 次回中編は無くなった家並と観笛橋

(岡谷市川岸東、元小井川区誌編纂委員

・川岸小学校150年誌編纂顧問)

・川岸小学校150年誌編纂顧問)